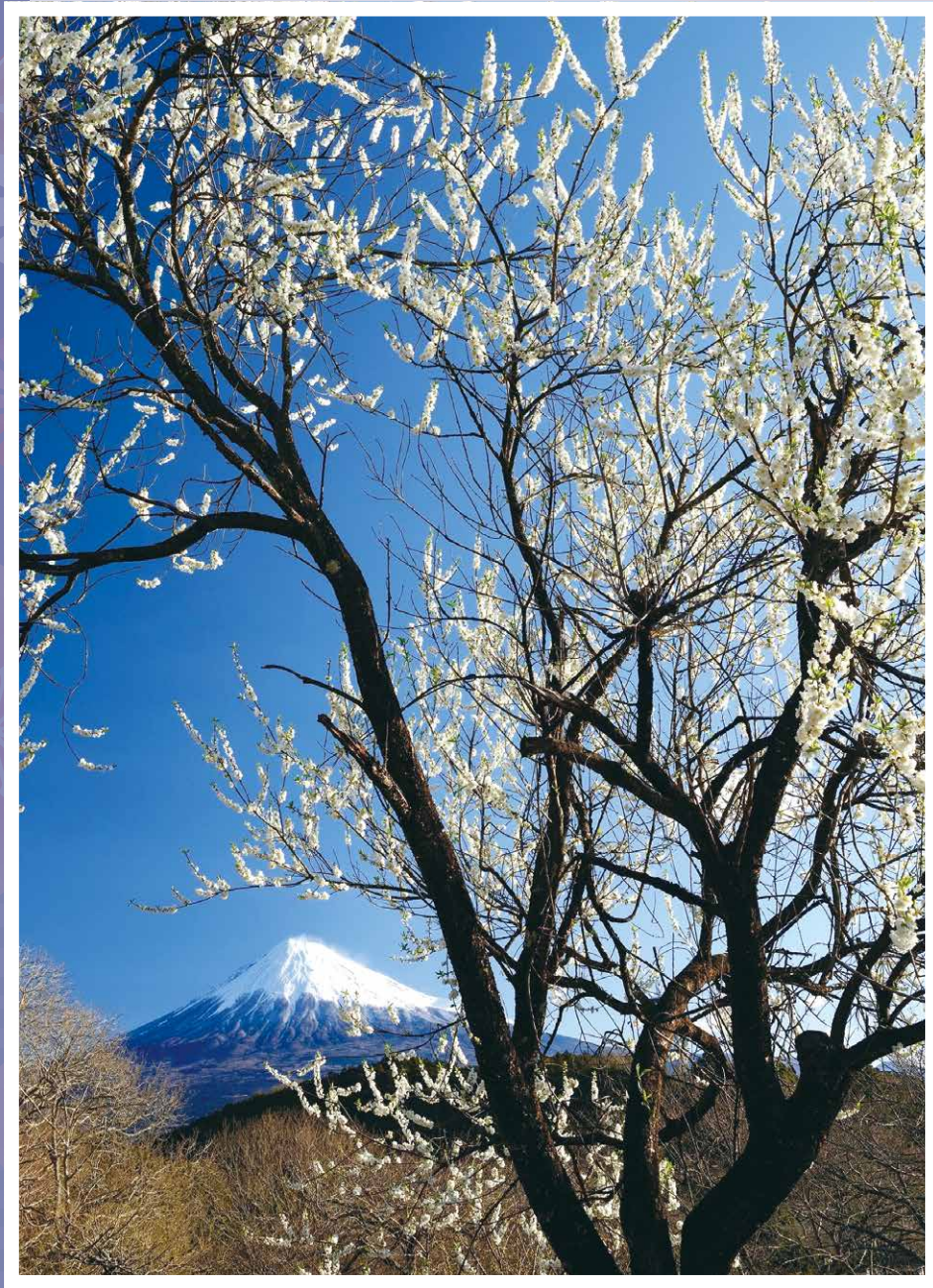


ふじ市議会だより

第 198 号 令和 6 年 2 月 1 日

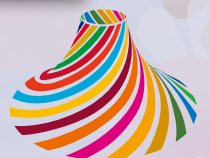
令和5年度 議会報告会を開催
参加された皆様と活発な意見交換を行いました



第17回富士山百景写真コンテスト 富士山写真部門入選
「春色舞う頃」若月茂央さん（エリア：岩本山公園）

特集

先進事例を研究
常任委員会による先進都市行政視察 8・9



SDGs 未来都市 富士市

新年のごあいさつ

市民の皆様には、令和6年の新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また日頃より市政発展のため、御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市議会では、昨年の改選により、9名の新人議員を迎え、新たな議員構成で任期をスタートいたしました。

二元代表制の一翼を担う責務を果たすべく、予算、条例等の重要なテーマについて、市長等と議論を深め、積極的な政策提案ができる「強い議会」を目指し、一丸となって取り組んでおります。

具体的には、様々な議案等を専門的、集中的に審査する分野別の常任委員会の活動をより活発化していくことが重要と考え、年4回の定例会以外にも、この常任委員会による重要事業の調査検討、議会報告会の開催等に取り組んでいるところです。



議長
小池 智明



副議長
小池 義治

また、市民の皆様の命を守る富士市立中央病院の建て替えに向け、新病院建設特別委員会を新たに設置しました。富士保健医療圏の公的基幹病院として、老朽化した中央病院の建て替えは急務であり、可能な限り早期の建設を期するため、建設場所、機能強化策等について集中的に審議してまいります。

なお、本会議のほか、昨年9月から委員会等の様子もインターネットで視聴できるよう整備しましたので、ぜひ御覧ください。

年頭に当たり、皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

11月定例会

会期内容

- 11月24日 本会議（開会）**
 - ◇議案1件（単行案）説明・質疑・討論・採決
 - ◇議案23件（補正予算案・条例案・契約案・単行案）説明・質疑・委員会付託
 - ◇陳情1件委員会付託
- 11月27日 委員会**
 - ◇議会運営委員会
- 29日 委員会**
 - ◇総務市民委員会
 - ◇産業教育委員会
- 30日 委員会**
 - ◇福祉保健委員会
 - ◇建設消防委員会
- 12月4日 委員会**
 - ◇議会運営委員会
- 5日 本会議**
 - ◇議案23件、陳情1件委員長報告・質疑・討論・採決
 - ◇議案1件（単行案）説明・質疑・討論・採決
 - ◇議案1件（人事案）説明・採決
 - ◇一般質問

- 6日 本会議**
 - ◇一般質問
- 7日 本会議・委員会**
 - ◇一般質問
 - ◇議会運営委員会
- 8日 本会議**
 - ◇一般質問
- 11日 本会議（閉会）**
 - ◇一般質問
 - ◇議案1件（補正予算案）説明・質疑・討論・採決

人事案件

（敬称略）

- 1件の人事案件は、次のとおり同意されました。
- ▷富士市教育委員会委員
 - 塩谷 知一（浅間上町）
 - 保科 悦久（下横割）

11月定例会

議案の審議結果

※太字は委員会付託議案です。

■全会一致で可決、同意した議案

予 算	令和5年度 補正予算
富士市一般会計補正予算（第6号）	
富士市一般会計補正予算（第7号）	
富士市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	
富士市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	
富士市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	
富士市新富士駅南地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	
富士市第二東名IC周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	
富士市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	
富士市水道事業会計補正予算（第1号）	
富士市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	
富士市病院事業会計補正予算（第2号）	

条 例

条例の改正
富士市特別職の職員の給与に関する条例等
富士市職員の給与に関する条例
富士市精神障害者医療費助成金支給条例
富士市国民健康保険税条例
富士市立学校施設等使用料徴収条例

契 約	契約の一部変更 富士市総合体育館等整備・運営事業
その他	財産の処分 富士山フロント工業団地第2期整備事業用地処分
その他	指定管理者の指定 富士市文化会館 富士市立体育館及びその附属施設、都市公園運動施設、富士市東球場、富士市東部スポーツ広場並びに厚原スポーツ公園 富士総合運動公園運動施設及び富士総合運動公園 富士市社会福祉センター 富士市社会福祉センター広見荘 富士市道の駅富士川楽座 富士市都市公園
その他	和解 富士市水戸島元町駐車場の精算機等の破損事故に係る和解
人 事	富士市教育委員会委員の任命



陳 情

パンデミック条約の草案及び国際保健規則改正に係る情報開示等の働きかけを求める陳情
◇福祉保健委員会にて審査◇

WHOでは、新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、将来の感染症の蔓延に備えるため、国際保健規則を改正するとともに、パンデミック条約を新しく制定する協議が進められている。

しかし、日本では、これらの草案の内容や交渉過程が、国民に十分周知されているとは言い難い状況にある。

よって、市におかれては、草案及び改正案に関する協議内容や国民生活への影響等を分かりやすく国民に周知すること、国民から意見を聴取する手続を早期に開始すること、改正の内容が国家主権を超えて日本国民の自由と人権尊重を侵害しない内容となることを国に働きかけるよう強く要望する。

【審査結果】

今後、国に対して要望すべき必要が生じた場合には、県との連携を図りながら、引き続き、国の動向を注視してまいりますとの当局説明を了承することに決しました。

11月定例会 常任委員会の審査

総務市民委員会

【委員長】 山下いづみ 【副委員長】 望月 徹

(補正予算1件、条例3件、その他4件)

【委員】 稲葉寿利、高橋正典、一条義浩、植松光徳、藤田哲哉、福永意人

●物価高騰等により富士市総合体育館等整備・

運営事業の追加費用の発生は

問 事業者から資材等の急激な高騰や労務費の上昇による事業費不足の申入れがあり、事業者との協議の結果、インフレライドを適用し12億540万円を債務負担行為の限度額として追加することですが、令和7年度の供用開始までの間に物価高騰がさらに進んだ場合には、今回と同じような事業費の追加が発生するのですか。

答 今回の補正は令和6年4月30日までの期間を対象としており、それ以後の対応については、物価高騰の動向が現段階では見通しが立たないため、事業費の追加がないとは言いきれない状況です。

福祉保健委員会

【委員長】 佐野智昭 【副委員長】 長谷川祐司

(補正予算5件、条例2件、その他2件、陳情1件)

【委員】 小池智明、新家大輔、石川浩司、萩野基行、笠井 浩、市川真未

●公立保育園での3歳児以上への主食提供について

問 保育園等給食事業費492万円の増額は、公立保育園における3歳児以上への主食の提供開始に向け、必要となる炊飯器や配膳ワゴン等を購入するためとのこと。3歳児以上の保育料に主食代金が含まれていないことから、これまで児童が主食を持参していましたが、来年度から3歳児未満と同様に保育園で主食を提供することにしたのどのような理由からですか。

答 毎朝御飯を準備し持参することは家庭の負担が大きく、多くの保護者から、3歳児以上にも保育園での主食提供を求める要望を受けており、また、持参した主食を保育園で保管することに衛生面などを懸念する声がありました。このため、来年度から3歳児以上についても月額500円の保護者負担で主食を提供することとしました。



●富士市高校生議会は初回以降も継続するか

問 魅力創造発信事業費として、高校生議会準備費18万円を計上することです。令和6年度から実施を予定している富士市高校生議会は、各学校において富士市の魅力や課題について、市とともに考えてきたことを発表する場としている点に独自性があるとのことですが、初回以降、事業の継続性についてはどのように考えていますか。

答 事業を実施していくに当たり、毎年や3年に1度など、どのようなサイクルで実施していくべきかについては、実施後に効果を検証した上で判断していきたいと考えています。また、参加した生徒には、若者が参画している他事業への参加を促し、市への理解を深めてもらうよう努めていきます。

●富士保健医療圏の630問題解消に向けて

医師会や各医療機関と連携を

要望 救急医療推進事業費を480万円増額し、富士保健医療圏における630問題を解消するため、新たに平日昼間の一次救急医療事業や年末年始医療体制確保事業を実施し、そのうち平日昼間の一次救急医療事業は、来年1月から3月末までの間、630事案が最も多く発生している平日の午後0時から午後2時までの時間帯に、救急患者の受入れが可能な内科系及び外科系医療機関による一次救急医療の輪番体制を構築することです。現時点で18医療機関から協力の申出を得ているようですが、630問題は複数の要因が重なっている地域の重大な医療課題であることから、本事業により平日昼間の630事案がどの程度減ったかだけでなく、630事案が多く発生している朝方や夕方の発生状況や中央病院の負担がどの程度変化したのかも検証し、医師会をはじめ各関係機関と解消に向けて取り組んでください。

産業教育委員会

【委員長】 井出晴美 【副委員長】 吉川隆之

(補正予算1件、その他1件)

【委員】 川窪吉男、下田良秀、遠藤盛正、伊東美加、佐藤菊乃、小池義治

●ごみ排出量が年々減少している中で、埋立ごみや粗大ごみの増加が見込まれる理由は

問 収集管理費1700万円を増額し、埋立てごみ・可燃粗大ごみの増加に対応することです。ごみ排出量は年々減少している中で、埋立てごみや粗大ごみが増加するのはどのような背景からですか。

答 近年では金属を含む等の複合素材の製品が増加し、これまでどおり焼却すると焼却炉を痛める危険性があることから、今年10月より収集区分を一部見直し、スーツケースや衣装ケース等、これまで可燃ごみとして取り扱ってきた品目を埋立てごみに変更したため、増加すると考えています。また、終活や断捨離を行う方や大型ごみの戸別収集を利用する高齢者世帯が増えていることなども背景にあると思われます。

●富士川楽座をサイクルツーリズムなどの観光拠点に

要望 今年度中に富士川かりがね橋が開通する予定であり、周辺の道路環境や富士川楽座の位置づけが変わると思われる中、富士川楽座の次期指定管理者候補者からは、昨年度から始めたe-Bikeのレンタサイクルを活用して、岩本山周辺施設と連携したサイクルツーリズムを推進していきたいという提案があったようです。

新橋が開通すれば、富士川楽座から岩本山や、かりがね堤、瑞林寺などの観光名所へ手軽に行くことができるようになるので、富士川楽座がサイクルツーリズムを含めた観光拠点となるよう、事業者と一緒に取り組んでください。



建設消防委員会

【委員長】 太田康彦 【副委員長】 鈴木幸司

(補正予算6件、その他1件)

【委員】 望月 昇、萩田文仁、杉山 諭、関 明美、笹川朝子、小野泰正

●無料の木造住宅耐震診断事業へのオンラインによる申込みの積極的な受付は

問 無料の木造住宅耐震診断事業が来年度に終了することに伴う駆け込み需要やダイレクトメールの送付による申請数の増加を受け、わが家の専門家診断事業費を235万円増額することです。市内には診断の対象となる住宅が5000戸から6000戸ほど残っていると推計される中で、オンラインによる申込みを積極的に受け付けていく考えはありますか。

答 県のウェブサイトにおいて、ふじのくに電子サービスによる申込みを受け付けていますが、これまで本市への申込み実績はありません。申請方法の多様化により申請数の増加も期待できることから、ふじのくに電子サービスとの連携について検討を進めていきます。

●市道富士川由比線の復旧工事のスケジュールは

問 令和5年8月の台風による豪雨で、路肩が崩落した市道富士川由比線の復旧工事を実施するため、補助災害復旧事業費を3300万円増額し、その全額を次年度へ繰り越すとのこと。災害復旧工事は迅速な対応が求められる中で、国の災害査定をより早く受けることはできなかったのですか。また、今後のスケジュールはどのようになっていますか。

答 8月の豪雨では県内の複数か所が被災したことにより、国の査定スケジュールが立て込み、災害査定は11月となりましたが、その間も、さらなる護岸の洗堀を防ぐため、大型土のうの設置などの仮設工事を行いました。今後は、速やかに入札手続きを行い、来年1月中旬に業者と契約をし、6月には復旧工事を完了させる予定です。



議会中継、
会議録検索は
こちらから

一般質問とは、市が執り行う行政事務全般について、議員が質問を行うもので、本定例会では24人の議員が登壇しました。ここでは発言順に質問項目のみを掲載していますので、詳細は富士市ウェブサイト上の本会議の議会中継（録画放送）や4月末頃に発行予定の会議録を御覧ください。会議録は富士市議会ウェブサイトのほか、図書館でも御覧になれます。

Table with 2 columns: Member Name and Question Topics. Includes members like 望月 徹, 一条 義浩, 小野 泰正, etc.

沼津市議会、富士宮市議会との合同視察・意見交換会を実施しました。

●沼津市議会 令和5年8月23日(水)に実施
本市の新環境グリーンセンター、エスプラット・フジスパークを視察・意見交換会を行った後、沼津市の(仮称)沼川新放水路を視察しました。



(仮称)沼川新放水路を視察

●富士宮市議会 令和5年12月18日(月)に実施
富士宮市の富士砂防大沢扇状地、富士山朝霧バイオマスプラントを視察し、その後、意見交換会を実施しました。



富士山朝霧バイオマスプラントを視察

市議会のデジタル化を進めています。

●議場システムのリニューアル
昨年9月定例会から音響・映像システムがリニューアルされ、より見やすく、分かりやすくなりました。



●委員会室・全員協議会室の映像配信
昨年9月定例会から、委員会室等に映像配信システムを設置し、県内で初めて各種会議の映像配信を始めました。ぜひ気軽に御視聴ください。



ごあいさつ・11月定例会

常任委員会の審査

一般質問一覧等

特集

議会報告会

議会広報委員のページ

ごあいさつ・11月定例会

常任委員会の審査

一般質問一覧等

特集

議会報告会

議会広報委員のページ

各常任委員会で所管する事項について、先進地の取組状況を視察しましたので報告いたします。

総務市民委員会

10月19日～20日

公共施設包括管理業務委託



千葉県佐倉市

佐倉市では、平成20年代から市有施設の老朽化、更新費用や人口の推移などをシミュレーションして、将来的なコストの最小化や施設効率の最大化を図るために、公共施設を経営資源と捉え、戦略的かつ適正な管理、活用を全国に先駆けて実践してきました。従来、担当課ごとに実施していた委託契約の情報を一元化したことで一括発注が可能となり、コスト削減や業務効率化につながったそうです。また、これらの公共施設に関する情報は佐倉市施設白書で、市民に分かりやすく公表されています。

富士市でも公共施設の整理が必要であり、今後も先進事例を研究していきたいと思えます。

書かない窓口



埼玉県深谷市

深谷市では、令和2年7月27日に「書かない窓口」をオープンしました。証明書ごとにあった申請書を1枚に統一するとともに、職員が聞き取りを基に申請書を作成してくれるので、申請者は書面を確認して署名するだけです。これにより、証明書発行にかかる時間や人件費が大幅に削減されたそうです。深谷市役所は令和2年7月に新庁舎となったばかりです。市民へのよりよいサービスと負担軽減を最大限に考慮し、1階に各種書類発行の窓口を集約しています。また、受付番号発券機やデジタルサイネージを活用した案内表示などは市民目線に立った便利な仕組みだと感じました。

産業教育委員会

10月17日～18日

デジタル適応支援教室



栃木県宇都宮市

宇都宮市では、不登校の子供たちが安心して過ごせるオンラインの居場所「U@りんくす（ゆーあっとりんくす）」が令和5年4月に開設しました。「つながる」「出会う」「広がる」をキーワードに、学びの機会の保証、将来の社会的自立を目指した支援、心のつながりのサポートを実践しています。スタッフは指導主事、小中学校教員、ICT支援員、臨床心理士からなり、企業や大学、専門学校もプログラムに参画するなど、多様な主体が連携しながら運営しています。子供に対する支援だけでなく、保護者の不安な気持ちをくみ取ったり、保護者同士のつながりも生み出したという取り組みには多くの気づきがありました。

デジタル地域通貨「ICHICO」



千葉県市川市

市川市では、都内へ通勤・通学する市民が多く、地元購買率が低い傾向にあり、コロナ禍も重なったことからデジタル地域通貨「ICHICO」を導入し、市内消費の喚起、地域経済の活性化を目指しています。ICHICOの決済機能自体は他の決済アプリと変わりませんが、健康づくりやボランティア活動などの市民活動にポイントを付与する機能も連動させています。このため、各部署が新たなポイントを付加することで、ICHICOの利用者が定着し、地域経済が活性化するとともに、市民活動の活発化につながるのではと感じました。

富士市での導入の可能性を検討したいと思います。

市独自の地域医療計画



山口県岩国市

岩国市は、人口規模に対する医療機関、医師数が本市よりはるかに多く、医療供給体制が充実しています。また、医療人材不足、岩国医療センターの移転などの課題への解決策を探り、関係機関との連携を通じ、市独自の地域医療計画を策定しています。

本市は人口10万人当たりの医師数が全国平均を大きく下回り、救急医療体制にも不安があります。議会では11月に地域医療研究会を立ち上げ、医療問題の抜本的な解決や富士市立中央病院建て替えの早期実現を目指して議論を進めています。岩国市のような先進的な取組を参考にしながら、市民が安心して暮らせる地域医療体制を整備していきます。

健康長寿のまちづくりのためのフレイル予防事業



岐阜県各務原市

フレイルとは、高齢になり体の機能が衰えてきているが介護が必要になる手前の、健康と要支援の間にある状態を指します。

各務原市では、独自の項目と方法で実施するフレイルチェックにより市民の体の状態を調べ、一人一人に適した対策につなげています。このフレイルチェックは、各務原市高齢福祉課や地域包括支援センターなどが担当します。また、ウォーキング教室、スマホ教室、料理教室などを学校や企業と連携して開催しているとのことでした。フレイル予防という目的だけにとどまらず、世代間交流の役割も果たしており、市政に生かす視点がたくさんありました。

駅前広場の再整備



三重県四日市市

四日市市では、顔・賑わいづくり、交通機能強化、空間の魅力向上、スマート化・レジリエンスの向上の4つの視点から、市の玄関口となる四日市駅周辺の再開発事業を進めています。また、自動運転車両等の実証実験や官民連携によるまちづくりの推進など、先駆的な取組を展開し、市民が歩ける広場や都市型スポーツの拠点も整備される予定です。

本市でも、長年にわたり待ち望まれていた富士駅北口周辺地区再整備事業がスタートしており、商業・住居・公益機能などを備えた利便性が高い都市拠点として生まれ変わろうとしています。今回の事例も踏まえ、持続可能で住みよいまちづくりを目指していきます。

まちなかウォークブル事業



愛知県一宮市

一宮市では、「つながり・ひろがる杜と人が織りなすウォークブルシティへ」をコンセプトとして、一宮駅周辺の約1キロメートル圏内に居心地がよく、歩きたくなるまちなかを創出するため、駅前広場や駅前ビルをリノベーションするなど、官民連携による可能性豊かなまちづくりを進めています。

また、一宮市という都市の基盤となってきた繊維産業をまちなか再生の重要な要素として取り込んでいることは、とても興味深く感じました。

本市が全国に誇る製紙やお茶などの地場産業を活用し、魅力や活力、地域性のある事業が実施できるように提言していきます。

福祉保健委員会

10月25日～26日

建設消防委員会

10月24日～25日

令和5年度 議会報告会を開催しました

富士市議会基本条例では、説明責任を果たし、市民の皆様の多様な意見を把握するため、毎年1回以上、議会報告会を開催することとしています。

当日は、議会活動の報告を行った後、委員会ごとに決めたテーマについて、参加された皆様と活発な意見交換を行いました。なお、出された意見については取りまとめ、市長へ報告します。

総務市民委員会

11月18日(土) 午後7時から
富士市役所本庁舎で開催(参加者24名)

テーマ

デジタルでひらく魅力的なまちづくり ～仕事・地域・子育て～

今後、デジタル化が進むと予想される中、デジタル田園都市国家構想を踏まえた総合戦略を策定して1年がたつ本市において、子育てや地域活動など、どのような分野でデジタルを活用していくべきか話し合いました。

【参加者からの意見】

- 様々なSNSやアプリが活用されているが、逆に分かりにくい
ため、ウェブサイトにリストを掲載してほしい。
- スマートフォンで手続可能な「行かない窓口」を導入してほしい。
- チャットボットを活用して、ウェブサイト上の情報を検索しやす
くしてほしい。
- 年齢などによりデジタルデバイスの使用状況に差が生じるた
め、行政サービスで補う必要がある。
- デジタル化を推進していく一方で、誰一人取り残さないというSDGsの
理念も忘れずに取り組んでほしい。
- デジタルスクール構想を進めるに当たり、学校の机が小さくタブレッ
トを使用しにくい。
- 生活、食、医療に関する情報が充実した子育てアプリがほしい。



産業教育委員会

11月5日(日) 午後1時30分から
富士市役所本庁舎で開催(参加者12名)

テーマ

温室効果ガス排出、実質ゼロを目指して ～「ゼロカーボンチャレンジ」 エコな未来に向けてできることから始めよう!!～

令和3年4月に富士市ゼロカーボンシティ宣言を行い、2050年の二酸化炭素実質ゼロを目指していま
す。その目標に向かって、自分たちができることや
市への提言等について考えてみました。

【参加者からの意見】

- 節電や節水、フードロスの削減など、無駄を減らす努力をする。
- マイボトルを使用するよう、市内に専用の給水所を設けてはど
うか。
- ごみの分別を徹底するために、ごみの分類について分かりやす
く周知すべき。
- 紙のリサイクルの効率化など、富士市ならではの施策をしてほ
しい。
- 自転車の利用を促すため、駐輪場の設置や自転車が走りやすい道路整備を
してほしい。
- 電気自動車購入に対する補助制度がほしい。
- 二酸化炭素吸収の効率のよい森林整備や公園緑地を進めるべき。



福祉保健委員会

11月7日(火) 午後7時から
富士市役所本庁舎で開催(参加者22名)

テーマ

高齢者が健康で元気に暮らせるまちに ～カギとなる介護予防・フレイル対策を 効果的に進めるためには～

今後、超高齢社会を迎えるに当たって、健康寿命の
延伸が大きな課題となっており、その鍵となると
言われている介護予防・フレイル対策について、様々
な立場・世代で意見を出し合いました。

【参加者からの意見】

- 散歩や山歩き、マラソン等のスポーツをしたい。
- 地域活動などの社会参加を通して、人と接する機会をつくりたい。
- ウォーキングやサイクリングをしやすいように、陥没などの危
険性がある道路を整備してほしい。
- 多世代とつながるマッチングアプリの作成や、スマホ教室によ
る交流を図ってほしい。
- 公会堂等を活用した3世代交流の場づくりに取り組んでほしい。
- 地域の中でフレイル状態の高齢者を早めに発見できるようにしてい
きたい。
- 町内行事への補助金などを増やしてほしい。
- 高齢者が子供を預かって遊んでくれるような仕組みがあるとよい。



建設消防委員会

11月21日(火) 午後7時から
消防防災庁舎で開催(参加者13名)

テーマ

空き家を知り、その利活用を考えましょう ～富士市の空き家対策のこれから～

令和5年4月から富士市空家等対策計画後期計
画がスタートし、空き家の増加抑制などを進める
ため、市内での出前講座の開催などに取り組んで
います。空き家対策への理解を深めながら、今後
の取組について考えてみました。

【参加者からの意見】

- 空き家を更地にした場合には固定資産税の軽減措置の解除を猶
予してほしい。
- 空き家への転居者には補助金を拡充してほしい。
- リフォーム等に対する補助金を充実させ、家を長もちさせるべき。
- 市が空き家をリノベーションし、販売したらどうか。
- 空き家バンクを広く周知する。また、登録要件等を拡充してほ
しい。
- 空き家専門の部署を設置し、空き家に対する専門的な助言ができる
コンサルタントを配置してほしい。
- 相続の際に空き家について悩むため、相続人が相談できる仕組みをつ
くってほしい。



議会広報委員が市内の注目スポットなどを取材！

議員ふじさん歩

Vol.23

取材担当：井出晴美、川窪吉男

全国でも珍しい2両のSL(蒸気機関車)



入山瀬公園のSL

2両目は元吉原小学校西門横にあるC5730です。ここにあるSL博物館には都電や鉄道グッズも多く展示されていますので、鉄道マニアのみならず、家族連れでも楽しめます。

元吉原小学校のSLの見学を希望される方は、同校までご連絡ください。

戦後の高度経済成長期の中、新幹線を含む近代型車両が登場した陰で姿を消したSL。戦前には軍需物資や多くの労働力を運び、戦後には日本国復興のための工業資材や人材を全国津々浦々まで運んだSLは、経済成長とともに消えていきましたが、富士市では今もその雄姿を見ることが出来ます。

1両目は鷹岡地区の入山瀬公園にあるD51943です。ここには図書館が入った客車「でごいち文庫」があります。



元吉原小学校のSL

議会にひと言

11年連続春の高校バレー出場の富士見高等学校女子バレーボール部の監督甲斐健悟氏にお聞きしました。(インタビュー：石川浩司)



中学生の部活動も地域移行が始まり大きな変革の時を迎えています。富士市でも、子供たちが熱心にスポーツに取り組んでいます。生涯を通じてスポーツを続けられる富士市であってほしいと願っています。

2025年には総合体育館が完成しますが、施設の整備にとどまらず、富士市にある様々なスポーツチームが、積極的に市外のチームを招いて、合宿などが行えるような環境を整備してほしいと思っています。現在、富士市は富士山女子駅伝の開催地となっていますが、プロスポーツの試合を誘致するなど、スポーツで富士市をさらに盛り上げていくよう、議会も応援してもらいたいと思います。

2025年には総合体育館が完成しますが、施設の整備にとどまらず、富士市にある様々なスポーツチームが、積極的に市外のチームを招いて、合宿などが行えるような環境を整備してほしいと思っています。現在、富士市は富士山女子駅伝の開催地となっていますが、プロスポーツの試合を誘致するなど、スポーツで富士市をさらに盛り上げていくよう、議会も応援してもらいたいと思います。

編集後記

今回の特集では、常任委員会による先進都市視察について紹介しました。視察先は、富士市が抱えている課題に対する解決のヒントになりそうな取組を委員会メンバーが持ち寄り、現場を見せていただける自治体を候補地として選定します。日程は様々ですが、4つの委員会の視察報告は議員全員で共有します。今回の視察は、議員として得た知識は必ず市民の皆様に還元していかなければと心に留め、気持ちも新たにすることができた素晴らしい研修となりました。(佐藤 菊乃)

議会



Vol.3



Q.一般質問って何をするの？

A. 一般質問とは、議員が市政に関して質問や提案を行う機会です。富士市議会では、議員1人につき60分以内の持ち時間を設定し、その中で、議員の質問、市長・教育長からの答弁を行います。市が行う事業の取組内容や問題点に関し、幅広く質問することができます。一般質問の結果は市政の方針や施策に影響を及ぼすこともあり、市民の声を反映する大切な機会となっています。

皆さんの身近な生活に関することや、興味・関心があることについての一般質問もあると思いますので、ぜひチェックして、傍聴に来てみてください。

(担当：新家大輔)



次回定例会予告

2月定例会は、2月15日から3月22日まで開催され、令和6年度予算の審議及び市長施政方針に対する質問等が行われる予定です。



発行

富士市議会

編集

議会広報委員会

静岡県富士市永田町1丁目100番地
☎0545(55)2878(直通)

ウェブサイト

富士市議会

検索